平成21年度

第１回富士市学校給食検討委員会の報告

日時：平成２１年７月７日（火）１５：００～
場所：市庁舎８階政策会議室

（本会の趣旨）
豊かな社会になり、豊食の時代・グルメの時代と言われている中で、学校給食の目的も「栄養補給」から「望ましい食習慣を身につけさせる教育の場」へと変わってきた。
これに伴い、富士市の小中学校においても、学校給食を情操教育や食文化学習の場としてとらえ、栄養のバランスなど食事内容はもとより、食器具、食事場所など、食事環境の一層の改善・充実を図っていかなければならない。
このためには、父母、教師、ならびに現場の職員を中核にして、表記の委員会を組織し、それぞれの立場から検討を重ね、魅力ある楽しい学校給食の推進を図る必要がある。（この会は決議機関ではなく、多方面から給食について助言をいただくための機関である。）

（平成２１年度　検討委員会　委員名簿）

校長	小泉　博（広見小）・普代徳子（岩松北小）
給食主任	勝呂裕子（富士見台小）・内田るり子（吉原三中）
栄養士	小島木綿（今泉小）・遠藤貴子（田子浦小）・今村祐子（広見小）
調理員	鎌塚やよい（給食センター）・佐藤清志（吉永一小）・栗田菊枝（伝法小） 杉田奈緒子（天間小）・岩間直美（吉原一中）・真野純一（元吉原中） 杉山さおり（吉原北中）
PTA 連絡協議会	酒井真津美（伝法小）・庄中友子（富士見台小）・青木雅子（吉原一中）
市民代表	小櫛和子・畑　裕美・保科朗子
事務局	久保田直人（学校教育課長）・橘田恵子（学校教育課統括主幹） 小倉美登江（保健担当主幹）・谷﨑みどり（保健担当主査）

１．役員：会長（小泉　博）・副会長（普代徳子）・書記（小櫛和子）
２．平成 20 年度　検討委員会経過報告
　　第一回　平成 20 年 7 月 14 日
　　第二回　平成 20 年 10 月 22 日（視察）
　　第三回　平成 21 年 2 月 6 日

３．平成 21 年度の進め方と検討内容

第 2 回　10 月 21 日（水）　視察・・・学校給食のない日

第 3 回　2 月　2 日（火）　または　2 月　8 日（月）

＊視察先の希望

・命を生み出している現場（農場…収穫時期・牧場など）

・食品加工現場（富士製パン・荒川製麺・青葉台きのこセンター・明治ハムなど）

・他市の給食センター

・岳南食肉センター（と畜場）

＊視察先への交渉、時間配分等があるので、事務局に一任する。

その他（会場での主な発言）

・　富士宮市の給食センターで、地元朝霧で飼育されている岡村牛を 2 頭買取り学校給食に出すという、今までにない取組みをこの 7 月にやるという情報がある。

…➔富士宮市では、狂牛病の国内発生から牛肉を使っていなかった。今回は、地元の牛なら安心だからということで使ったのでは・・？

・　学校給食会常任理事会の中で、富士川の小中学校長 4 人ともが、合併前より学校給食が美味しくなったといっていた。

…➔今まで顆粒の出しの素を使っていたが、鰹や昆布できちんと出しをとるようになった。

…➔富士市では、料理の種類（味噌汁・煮物　他）によって、出しのとり方の研修をしている。今まで、当たり前のようにやっていたが、あらためて富士市の学校給食の取組みの良さを確認した。

・　センター給食でも、丁寧に野菜を手切りしたりしていて、思っていたのと違っていた。お互い、違う形の中で、気づかされることも多い。

・　地元で沢山とれた野菜を、学校給食にと持ってきてくださることがある。

…➠担当栄養士に相談して、食材の差し替えをしたり、できるだけ対応していきたい。